

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会のこれからの考える委員会

■平成31年1月29日「第1回 職連協のこれからの考える委員会」が開催されました。

第1回 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会のこれからの考える委員会 次第
期日：平成31年1月29日 13:30～
会場：茨城県総合福祉会館2階 ボランティア会議室

開 会

1. 挨拶
2. 自己紹介
3. 現状報告

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会の現状について

4. 協議事項

(1) 委員長・副委員長の選出について

(2) 委員会の進め方について

・「第2回 職連協のこれからの考える委員会」 3月開催予定

5. その他

職連協のこれからの考える委員会 委員名簿			
支部	支部 役職	氏 名	社協名
県北支部	支部長	菅野 秀行	日立市
	代議員	佐藤 和宏	高萩市
那珂支部	代議員	大宮 武富	ひたちなか市
	支部長・理事	浅野 健一	那珂市
中央支部	支部長・理事	菊池 みか	水戸市
	理事	大平 徳子	大洗町
鹿行支部	支部長	遠峯 茂	鹿嶋市
	代議員	野口 桂子	行方市
県南支部	理事	岡崎 博之	石岡市
	代議員	中村 真聡	かすみがうら市
県西支部	支部長	柴田 優	常総市
	代議員	仁平 直美	筑西市
稲北支部	支部長/理事	清水 昌樹	牛久市

■ 委員長・副委員長が選出されました。

委員長 県西支部 柴田 優 (常総市社協)

副委員長 県南支部 中村 真聡 (かすみがうら市社協)

■ 次回開催は、3月15日(金)13時半～ ボランティア会議室にて

第1回 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会の
これからの考える委員会 会議録

日時 平成31年1月29日(火) 午後1時30分から午後3時40分まで

場所 茨城県総合福祉会館2階 ボランティア会議室

出席者 11名

- ・ 県北支部 菅野 秀行 (支部長: 日立市)
佐藤 和宏 (代議員: 高萩市)
- ・ 那珂支部 浅野 健一 (職連協会長・支部長・理事: 那珂市)
大宮 武富 (代議員: ひたちなか市)
- ・ 県南支部 岡崎 博之 (職連協副会長・理事: 石岡市)
中村 真聡 (代議員: かすみがうら市)
- ・ 県西支部 柴田 優 (支部長: 常総市)
仁平 直美 (代議員: 筑西市)
- ・ 稲北支部 清水 昌樹 (支部長・理事: 牛久市)
- ・ 事務局 中村 英一 (県社協福祉のまちづくり推進部部長)
篠原 嘉 (県社協福祉のまちづくり推進部推進員)

欠席者 4名

- ・ 中央支部 菊池 みか (支部長・理事: 水戸市)、大平 徳子 (理事: 大洗町)
- ・ 鹿行支部 遠峯 茂 (支部長: 鹿嶋市)、野口 桂子 (代議員: 行方市)

開会 事務局 篠原推進員

1 挨拶 浅野会長

2 自己紹介 名簿順に自己紹介をした。

3 現況報告

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会の現状について

- ・ 中村部長から、資料「茨城社会福祉協議会職員連絡協議会が抱える課題等について」に基づき現状と課題の説明、及び篠原推進員より関東ブロック社協職員の会概要調査等の説明があった。その後、浅野会長から資料の補足及び職連協理事会での協議状況の説明があった。
- ・ 出席委員から、各所属市町村社協における職連協会費の負担状況や、支部の運営状況等を報告いただいた。

(1) 委員長・副委員長の選出について

出席委員の互選により、次により正副委員長が選出され、承認された。

- ・ 委員長 柴田 優 (県西支部長: 常総市)
- ・ 副委員長 中村 真聡 (県南支部代議員: かすみがうら市)
- ・ 議事録作成者の決定 県北支部: 菅野委員 (日立市)

(2) 委員会の進め方について

中村部長から、職連協の見直しに関するアンケートの状況から、

・10年前と課題は変わっていない。・社協内でも一部の人だけしか意見交換されていないので、職連協でも同じことになってしまう。・特に職連協が何なのかわかっていない人が多い。・研修会企画しても、参加メンバーが偏ってしまう。・職連協のPRが必要。・新人研修で職連協に関する説明があると良い。・新人職員が運営委員になっている。

等の意見をもとに、これから何を軸として協議していくかということについて、柴田委員長から各委員に意見を求めたところ、次により意見があった。

- ・職連協はネットワークづくりに役立っている。
- ・新人研修や階層別研修を職連協も担っていることを知らない会員が多い。
- ・職連協を無くすのは簡単だが、無くしてしまったら復活は難しい。
- ・職連協に関わらないと良さがわからない。
- ・(行政から派遣された) 事務局長等に職連協への理解が得られにくい。
- ・職連協の事務負担が大きい。身の丈に合った事業展開や小さい組織にすることが必要ではないか。
- ・社協職員、職連協会員であるという意識づくりが必要ではないか。
- ・職連協の原資で県社協が事業企画という方法もある。

以上のような意見が出された。なお、職連協を無くすという方向性ではなく、如何に良くするかという考えであったことから、次回以降、職連協活動が停滞している阻害要因を取り除きながら、活動を活性化する方法を検討することとして、正副委員長、会長、事務局で協議事項を整理し、次回以降の委員会で協議していくこととなった。

次回理事会は、3月15日金曜日 13時30分から開催することとした。

閉 会 事務局 篠原推進員

以 上

平成31年1月30日

社会福祉
法 人 日立市社会福祉協議会
会議録作成者 菅野秀行